

令和3年度文京区アカデミー推進協議会 第1回分野別分科会（観光分野）

概要記録

日時	令和3年6月7日（月）書面開催
委員	山田徹雄委員◎、小能大介委員、関誠委員、内藤雅義委員、佃吉一委員、杉田明治委員、清水恵一委員、彼島巽委員、堀正孝委員、小島えりか委員（◎座長）
幹事	高橋征博アカデミー推進部長、堀越厚志アカデミー推進部観光・都市交流担当課長
資料	資料1 次期アカデミー推進計画の構成（案） 資料2 観光分野の定義及び現状と課題 資料3 意見等記入様式

会議内容

- (1) 次期アカデミー推進計画の構成（案）について
- (2) 観光分野の定義及び現状と課題について

以下、書面会議のため項目ごとにご意見を列記する。

○項目に対する意見 ●その他の意見

① 新たな生活様式に対応した観光スタイルの確立

ご意見
○インバウンドの回復見込みが立つまでは、やはり近隣および区民参加のサービス拡充に賛成いたします。
○SNSなどへの情報発信は「食」分野が主ではあるが、マイクロツーリズムの視点からの価値発見は、「衣」「食」「住」をバランス良く、見つめなおしても良いと思います。例えば「衣」ではサステイナブルやデザイン関係も。各種大学、都立工芸高校、専門学校などコンテンツは意外にも豊富に思います。
○オンラインシステムの活用で、世界中に発信、24時間可能。文京区との日本国内の友好都市とも連携し、地方の外国人、日本人の人物交流、産業復興のPR協力など、無限大の協力ができるので、これを軸に観光PRを再検討できるといいですね。例えば、ドローンや、スマホの地図などを活用して、バーチャル文京区散歩館など世界に発信したいですね。
●少子高齢化、多文化社会、SDGsを意識した社会に基づく観光を意識すれば新しい時代の観光のありかたが見えるかもしれませんね。
○新たな生活様式について、どのような様式を想定しているのかその定義付けを明確化

ご意見
<p>しないと、対応した観光スタイルが的外れにならないでしょうか？</p> <p>○「地域の観光資源を新たに開拓する、区民参加型の観光サービス」「区内事業者の紹介」等は、文京区の地域を起点（ex. 谷根千、茗荷谷界限等）とした区内住民の facebook や SNS のサイトがあるので、その様なサイトとコラボしてボランティアとして参加してもらうことも一考ではないでしょうか。</p>
<p>○コロナウイルス感染拡大に伴い様々な対応の変化を迫られた観光分野だが、この対応を一過性のものにとらえず、ウィズコロナ、ポストコロナを見据えた多様な観光スタイルに応じた施策展開が重要である。</p>

### ② 観光資源の活用・保護による新たな魅力の創出

ご意見
<p>○「芸術文化等との融合型事業が重要」の部分に強く共感します。お互いの強みや弱点を補完できるように感じます。</p>
<p>○歴史的、文化的観光の発掘だけでなく、新しい時代にふさわしい、現代的視点と国際化視点からの観光になる、文京区の文化、芸術、教育等をアピールしたいですね。</p>
<p>○観光ボランティアについては、既定コースごとの観光ガイド等のイメージしかないので、例えば観光マップ上のスポットの観光インフォメーションの動画に出演してご案内いただく等、多様なご活躍の場を提供することは難しいのでしょうか。</p>
<p>○スタンプラリー企画など、区内の観光資源をつなげるイベントの企画を通じて、区への来訪の目的がある特定の観光地・観光資源にとどまらず、回遊性を高めるような工夫が必要である。また、観光ボランティアについては、オンラインツアーの支援を行うボランティアの育成等、新たな観光の形に即したボランティアの養成が重要と考える。</p>

### ③ 区内観光の情報の収集・活用による来訪の促進

ご意見
<p>○「WEB、SNS、YouTube などの様々な媒体を通じた」の表記は、SNS、YouTube は WEB 媒体でもあるので「SNS、YouTube などの様々な WEB 媒体を通じた」にしてはいかがでしょうか。</p>
<p>○SNS を積極的に活用する上で、Instagram を積極活用してはいかがでしょうか。ハッシュタグをつけて写真を投稿してもらうなど。コンテストの企画も有効と考えます。菅工房ボランティアの育成は内部からの取り組みと考えると、Instagram が外部の方の積極的な取り組みと位置づけできます。ポスター掲示などは飲食店や商工事業者にも協力を頼む。大学生の発信力も強力で連携できないか、考える余地があると思います。</p>

ご意見
○世界の視点、地方の視点から、文京区の魅力を探りたいですね。スマホ、留学生、外国人による海外観光アピールを導入したいですね。
○観光目的、世代など、様々なターゲットを想定し、それに応じた観光に関する情報発信を行うことが求められる。
●SNSの活用には、画像や動画の投稿が主である Instagram を重点的に活用することが重要と考えられる。花の5大祭りなど、文京区の観光資源は Instagram でも若い世代を中心に注目を集めており、区が主体的に情報発信することでさらなる集客効果を得ることができるのではないかと。

#### ④ 区民・来訪者から愛され続ける観光振興の推進

ご意見
○自転車での回遊は魅力的です。健康維持（セルフメディケーション）的訴求から文京区を自転車で回ってもらう企画（マップづくり）も面白いのではないかと。
○国内友好都市拡大、海外への発信で観光によるトモダチ作戦で来訪者を増やす。インターネットとスマホを活用した仲間づくりと観光がこらぼできるといいですね。
○シビックセンターの展望室での取組等楽しい企画を各所で開催する地道な積み重ねが必要だと思います。
○区内の観光情報をまとめ、その魅力を発信するプラットフォームの創出が求められていると考える。

#### ⑤ その他

ご意見
○私たちは小さな日本語学校ですが、オンラインで日本語教育を行い、国際化に興味のある地方の大学学生と文京区の大学学生とアジアの国立、私立、理工系大学、高校とアジアの提携大学（現在15大学）で日本語教育を行い、その授業の中でも文京区内の観光写真を活用して、1万人を目標に文京区の魅力を伝えていく計画です。文京区とコラボできるといいですね。海外の学生自慢、日本国内の友好都市自慢、文京区の自慢を日本語で、写真を使って交流をかんがえております。高校生も含む。

以上